

「スポーツ実施率・アクティブライフに関する 実態調査2021」結果について（速報版）

神戸商工会議所は、スポーツ産業振興事業の一環として、神戸市内の事業所における経営者・従業員等を対象に、2018年度より「スポーツ実施率・アクティブライフに関する実態調査」を実施している。今般、4年目となる2021年度の調査結果（速報版）をまとめた。

■調査概要

目的：神戸市内事業所における経営者、経営幹部、従業員の「スポーツ実施率向上」のための基礎資料とする。

期間：2021年10月25日（月）～11月12日（金）

対象：神戸市内の事業所に勤務する経営者、経営幹部、従業員等

回答人数：54社 1,315人（※2018年度 80社 2,365人、2019年度 70社 1,875人、2020年度 71社 1,720人）

方法：WEBによるアンケート調査

調査リーダー：伊藤克広 兵庫県立大学 国際商経学部 教授（専門：スポーツ社会学、地域スポーツ推進政策等）
（神戸商工会議所 神戸スポーツ産業懇話会 世話人）

■調査結果の主なポイント

- 「週1日以上スポーツ実施率」は50.6%
2020年度より0.8ポイント上昇（2018年度41.8%、2019年度44.6%、2020年度49.8%）
- 「1週間のスポーツ実施時間」は「150分以上」の人が24.9%
2020年度より1.3ポイント上昇（2018年度19.5%、2019年度21.9%、2020年度23.6%）
- 「この1年間の運動・スポーツ実施場所」は引き続き道路、自宅・自宅敷地内、公園等が上位
 - ・「道路」が33.2%（2019年度26.4%、2020年度32.5%）
 - ・「自宅・自宅敷地内」が27.3%（2019年度19.3%、2020年度28.3%）
 - ・「公園」が26.2%（2019年度22.0%、2020年度26.8%）
- 「オリンピック・パラリンピックとともによく観戦した」は24.9%
- 「オリンピック・パラリンピック観戦による運動・スポーツ実施への影響」は「6ヶ月以上、定期的実施しており、継続意欲が高まった」30.6%、「実施していなかったが、始めようと思っている」19.4%
- 新型コロナウイルス流行下における健康の変化は、「体重増加」34.4%（2020年度34.7%）、「ストレス増加」34.1%（2020年度32.1%）、「健康意識の高まり」20.8%（2020年度22.2%）、「適度な運動を心がけるようになった」17.4%（2020年度16.5%）。一方、「特に変化していない」は27.3%（2020年度29.5%）。

■調査リーダー伊藤教授からのコメント

- ・スポーツ実施率、アクティブライフは年々向上している。
- ・オリンピック・パラリンピック観戦が運動・スポーツ実施にポジティブな影響を及ぼしている。
- ・新型コロナウイルス流行下において引き続き体重やストレスの増加がみられた一方で、適度な運動への心がけも増加している。

■添付資料

1. 資料①結果概要（速報版）
2. 資料②結果（速報版）

以上

【本件担当】

- ・神戸商工会議所産業部 産業・国際チーム 大岩・竹下
TEL：078-303-5806 FAX：078-306-2348 E-mail：sport@kobe-cci.or.jp
- ・兵庫県立大学 国際商経学部 教授 伊藤 克広
E-mail：itokatsu@em.u-hyogo.ac.jp